

中野 義明さん（昭和58年卒）

株式会社 中野商店 取締役副社長

◇お仕事の内容を教えてください

北上市内を中心に、社長である兄とともに株式会社中野商店を営んでいます。業務内容は、和賀町藤根と流通センターにおいてガソリンスタンドを2店舗と灯油、軽油などの石油類を各家庭や各企業の現場などに配送しています。また、家庭用、業務用としてLPガス販売及び住宅設備機器、空調設備工事などを取り扱う燃料小売業をメインとする仕事を行っています。

20年前からは、北上市など近隣市町の給排水設備工事指定店として、新築・リフォームなどにおいて給水、給湯、排水設備工事を施工する仕事も行っていきます。



◇仕事を通じどんなことに喜びを感じますか

やはりお客様から『中野商店に頼んでよかったよ!!』と言われる時です。

我々経営者も弊社の社員もお客様がどういったことを中野商店に求めて、店舗に足を運ぶのか、電話をくださるのか、注文をくださるのか、そういうことを考えながら行動することを常に言い聞かせています。もちろん自分自身にも言い聞かせています。

親切・丁寧はもちろんのこと、真心と気配りをもってどの方々に対しても心から感謝できるようにすることが最も必要であると思っています。

このことができればお客様に『中野商店に頼んでよかったよ!!』と言われると思います。このことを忘れずこれからも言ってもらえるようにしたいと思います。

◇将来の夢を教えてください

この10年ほど先代の社長である父親と一緒に苦楽を共にしてきた社員たちが高齢により定年退職者が連続して出るようになりました。高齢になっても会社に残り頑張ってくれる人もおりましたが、やはり仕事の体力がきつくなっていました。

そこで、新たな人員の確保のため求人募集を積極的に行い、若い方々の労働確保に努めました。けれども今どきは、少子高齢化・大企業への就職などにより地元零細企業への就職を希望する人はほとんどありません。

そこで、いろんな人からの紹介をお願いしながら、就業規則の変更や賃金形態の改定をして見直しを図りました。それがようやく功を奏して、徐々に若い方が弊社に入社してくれるようになり、今では、若い社員が増えて活気のある会社となりました。

◇専大北上高校ではどんな高校生活を過ごされましたか

現在もそうですが、私が入学する前から卓球部は県内の強豪校でした。中学2年生の時に中学の卓球部の仲間と訪問する機会をいただきました。当時は鬼柳校舎の体育館で練習をしていましたが、その時にこれが県内屈指の強豪校の選手たちでその強さに衝撃を受けたものです。以来、この強豪校の卓球部

に入部して卓球をやりたいと思いこの専大北上高等学校へ入学しました。

正直うまくはなかったですが、3年間厳しい練習にも耐えることができ素晴らしい仲間とともに卓球ができる毎日が楽しかったです。

この経験が今の人生にとっても生かせていると思っています。

◇専北生に伝えたいメッセージは何ですか

高校の3年間はあっという間に過ぎてしまいます。在籍中は長く感じるものですが、その日その日を大切に勉強にもクラブ活動にも一生懸命打ち込んでほしいものです。将来、絶対にここで頑張っていればとか、もっとやれば良かったなどのないようになしてください。

また、この高校時代に一緒に学んだ友人は一生の宝物となります。多くの方と出会い知り合っても素晴らしい高校時代の思い出を作ってください。

☆取材後記

先代社長の頃からの従業員さんが高齢退職されることを寂しそうに語る一方で、雇用条件の改善等の取組が奏効し若い世代の入社が増加しつつあることを嬉しそうに語る中野さん。

「将来の夢」が「自分の」ではなく「会社の」になっていることから中野さんの真摯な人柄が伝わってきます。 中野さん、益々のご活躍を！（担当：Y）